

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和4年7月】

■調査概要（データ対象期間：令和4年7月1日～7月31日）

○調査期間：令和4年8月3日～令和4年8月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業16企業、卸売業11企業、小売業18企業

飲食業17企業、サービス業42企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計123企業>

○調査項目：7月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲2.2)よりマイナス幅が6.7ポイント拡大し、▲8.9となった。業種別では、飲食業はプラスのまま横ばいで、サービス業はプラス幅が縮小した。卸売業は0からマイナスになった。小売業、建設業、製造業はマイナス幅が拡大した。

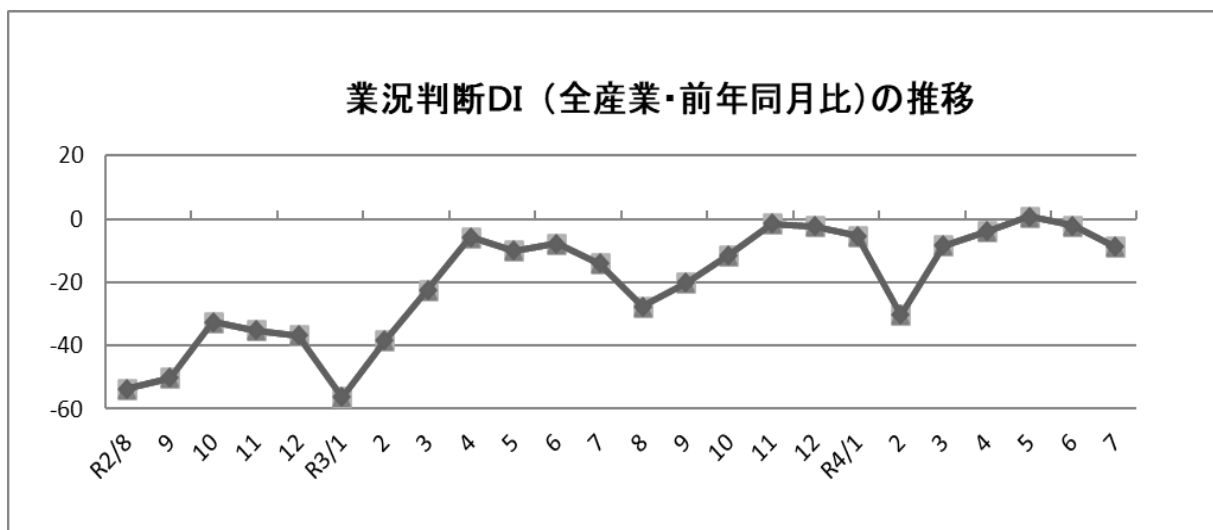
○全産業合計の水準DIは、前月(▲22.5)よりマイナス幅が3.5ポイント拡大し、▲26.0となった。業種別では、卸売業が0からマイナスになった。小売業、飲食業はマイナス幅が縮小した。建設業はマイナスのまま横ばいで、サービス業、製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	18.7 (21.1)	53.7 (55.6)	27.6 (23.3)	▲ 8.9 (▲ 2.2)	12.2 (11.3)	49.6 (54.9)	38.2 (33.8)	▲ 26.0 (▲ 22.5)
建設業	0.0 (0.0)	73.7 (78.9)	26.3 (21.1)	▲ 26.3 (▲ 21.1)	0.0 (0.0)	73.7 (73.7)	26.3 (26.3)	▲ 26.3 (▲ 26.3)
製造業	6.3 (27.8)	56.2 (38.9)	37.5 (33.3)	▲ 31.2 (▲ 5.5)	12.5 (27.8)	37.5 (22.2)	50.0 (50.0)	▲ 37.5 (▲ 22.2)
卸売業	27.3 (16.7)	27.2 (66.6)	45.5 (16.7)	▲ 18.2 (0.0)	18.2 (16.7)	45.4 (66.6)	36.4 (16.7)	▲ 18.2 (0.0)
小売業	22.2 (19.2)	50.0 (57.7)	27.8 (23.1)	▲ 5.6 (▲ 3.9)	27.8 (11.5)	27.8 (50.0)	44.4 (38.5)	▲ 16.6 (▲ 27.0)
飲食業	35.3 (41.2)	35.3 (23.5)	29.4 (35.3)	5.9 (5.9)	11.8 (5.9)	41.1 (47.0)	47.1 (47.1)	▲ 35.3 (▲ 41.2)
サービス業	21.4 (22.0)	59.6 (60.9)	19.0 (17.1)	2.4 (4.9)	9.5 (9.8)	57.2 (63.4)	33.3 (26.8)	▲ 23.8 (▲ 17.0)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



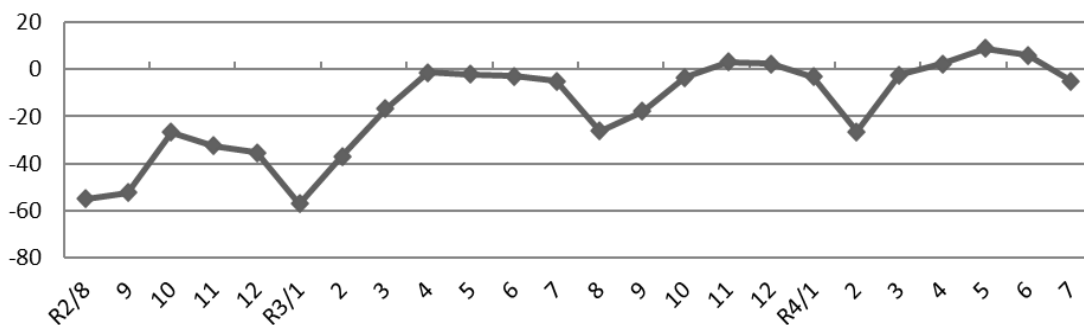
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(6.0)よりプラス幅が10.9ポイント縮小して、▲4.9となった。業種別に見ると、飲食業、サービス業はプラス幅が縮小した。卸売業はプラスから0になり、製造業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナスから0になった。建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全体	▲ 5.1	▲ 26.1	▲ 17.9	▲ 3.5	3.0	2.3	▲ 3.1	▲ 26.5	▲ 2.3	2.4	9.0	6.0	▲ 4.9
建設業	▲ 26.3	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5	15.8	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8
製造業	35.0	22.7	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5
卸売業	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0
小売業	▲ 13.6	▲ 48.2	▲ 45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲ 28.0	4.2	4.5	26.1	▲ 3.9	0.0
飲食業	▲ 25.0	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6	5.3	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9
サービス業	0.0	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 7.1	▲ 2.5	0.0	▲ 12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



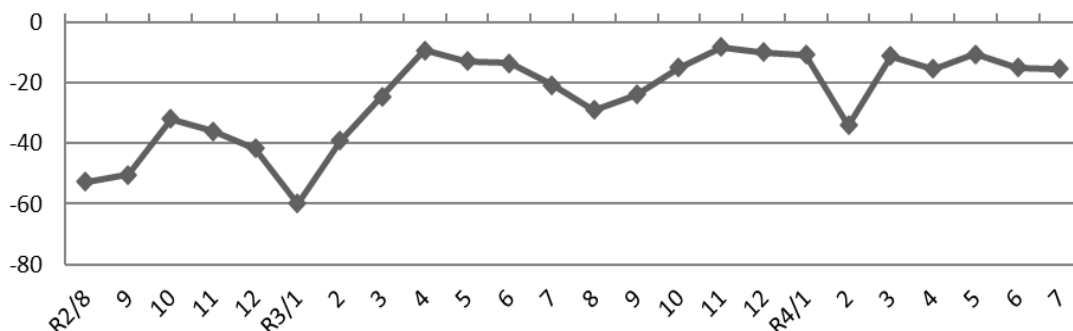
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲15.0)よりマイナス幅が0.4ポイント拡大して、▲15.4となった。業種別に見ると、サービス業はプラスからマイナスに転じた。建設業、製造業はマイナス幅が縮小した。飲食業はマイナスのまま横ばいで、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。

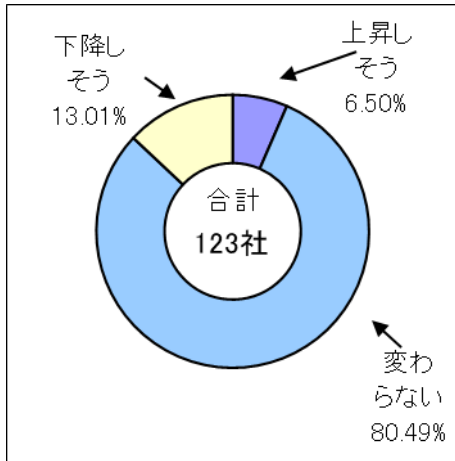
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全体	▲ 20.8	▲ 29.0	▲ 23.9	▲ 15.0	▲ 8.3	▲ 10.0	▲ 10.8	▲ 34.1	▲ 11.3	▲ 15.4	▲ 10.6	▲ 15.0	▲ 15.4
建設業	▲ 36.8	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6
製造業	5.0	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0
卸売業	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	7.7	▲ 9.1	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1
小売業	▲ 27.3	▲ 37.0	▲ 50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲ 16.0	4.1	0.0	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8
飲食業	▲ 35.0	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4	▲ 21.0	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8
サービス業	▲ 15.9	▲ 22.5	▲ 20.0	▲ 20.4	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4	▲ 12.5	7.1	2.4	▲ 2.4

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

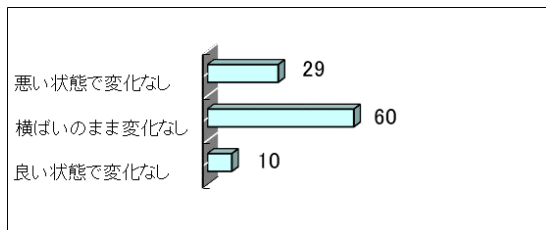


○令和4年8月～令和4年10月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ5.53ポイント下降し6.50%、「下降しそう」が4.74ポイント上昇し13.01%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲12.5)、卸売業(▲18.2)、小売業(▲27.7)、飲食業(▲11.8)、サービス業(7.1)であった。

➡「上昇しそう」では「ゼネコンを中心とした工事の予定があるため」(建設業)「受注量が増加傾向にあるため」(製造業)「お盆や秋の連休など、人の動きが活発になりそうのため」(小売業)「今後の新型コロナウイルス感染症の影響次第ではあるが、上昇の兆しがあるため」(信州割SPECIALが、全国向けに拡大しそうであるため) (サービス業)といった声が寄せられた。また「withコロナの生活に人々が慣れてきているため」といった声が多数寄せられた。

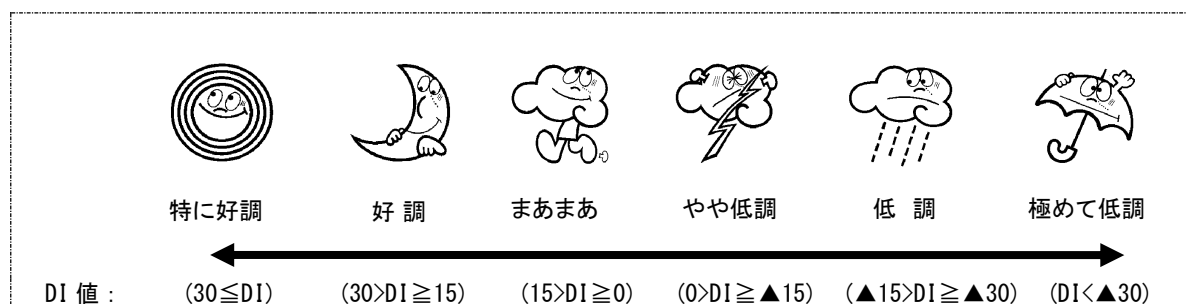
➡「変わらない」では「印刷用紙が今年で2段階目の値上げの可能性があるため」(製造業)「現状で新規のプロジェクトがないため」(長野県知事選挙が終わるまでは変化がなさそうであるため)「新型コロナウイルス感染症の収束が見えてこないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「営業体制の変更に伴う規模縮小のため」(建設業)「航空機需要の回復の遅れ等の影響を受けているため」(企業、個人ともに受注が減ってきているため)「時期的要因があるため」(小売業)「信州割SPECIALが終了すると、集客が落ち込みそうであるため」(職業訓練応募者数が微減に転じたため) (サービス業)といった声が寄せられた。また「資材等の高騰の影響を受けているため」(新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため)といった声が多数寄せられた。

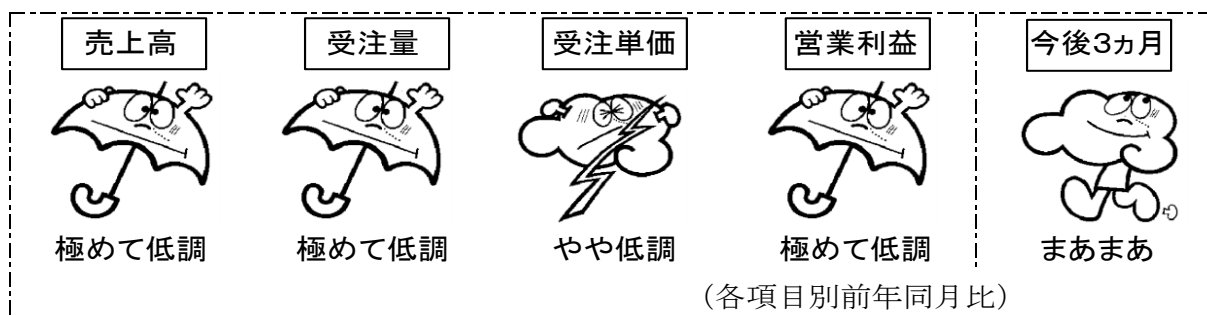


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



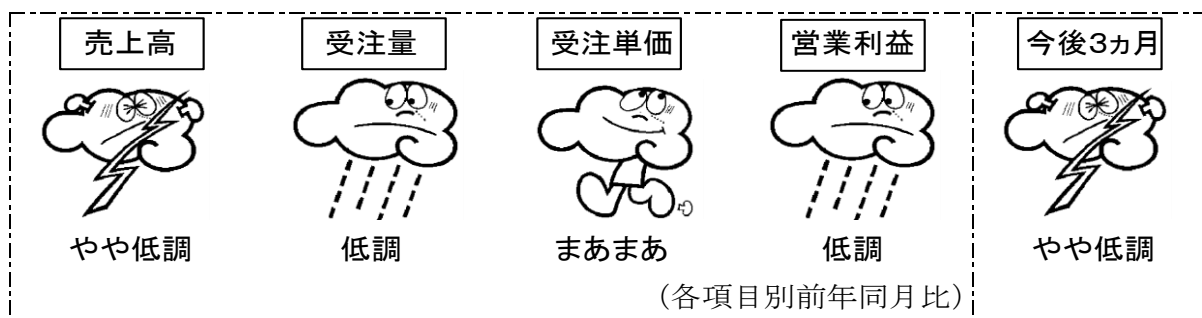
【項目別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 26.3	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5	15.8	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8
受注量	▲ 36.8	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 5.3	▲ 38.9	▲ 31.5	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 15.8	▲ 31.6
受注単価	▲ 15.8	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 9.1	5.3	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 10.0	10.5	▲ 4.7	5.3	▲ 10.5
営業利益	▲ 36.8	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6
見通し	0.0	5.0	11.1	▲ 4.5	▲ 5.3	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.7	10.5	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- 土木工事
 - ・第一四半期の公共工事は例年通りであるが、受発注は低調気味である。建築資材、木材、設備器具等々の品不足や遅延が深刻なようである。
- 建築・土木工事
 - ・資材等の高騰が利益の低下を招いている。
- 電気工事
 - ・建設の動きで当業界も変わってくる。良い方向へ早く向くように願うばかりである。
- 鉄工
 - ・材料等々の高騰が止まらないままである。受注にかかる金額が増えてきており頭が痛い。
- 総合建築
 - ・長野県知事選挙が早く終わることを祈っている。

2. 製造業



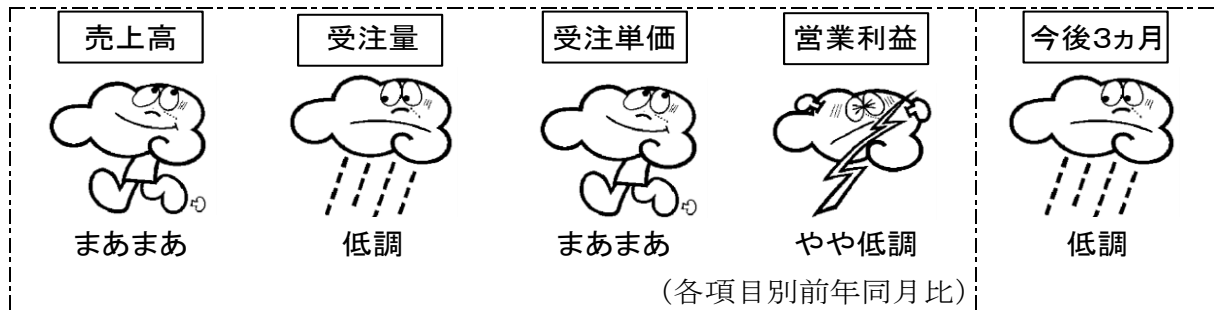
【項目別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	35.0	22.7	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5
受注量	25.0	9.1	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 10.0	5.2	▲ 47.4	5.5	▲ 22.2	10.0	11.1	▲ 25.0
受注単価	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	5.0	5.3	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 5.5	11.1	5.0	16.7	6.2
営業利益	5.0	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0
見通し	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 15.8	5.3	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 5.0	5.5	▲ 12.5

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|--------|---|
| 精密機器組立 | ・部品の入荷が遅れている中で、様々なコストが上がってきている。状況が改善するのを願うばかりである。 |
| 印刷 | ・制作業務委託で、無償でデータを要求される案件が発生した。クリエイティブワークに対する意識が、地方では相変わらず低いのではないだろうか。 |
| 金属塗装 | ・相変わらず中国からの半導体や部品の入荷が遅れているための生産調整があり、受注が減少している。また原材料や燃料の高騰が採算を圧迫している。 |
| 食品・飲料 | ・原材料等に掛かるコストの上昇が顕著である。 |

3. 卸売業



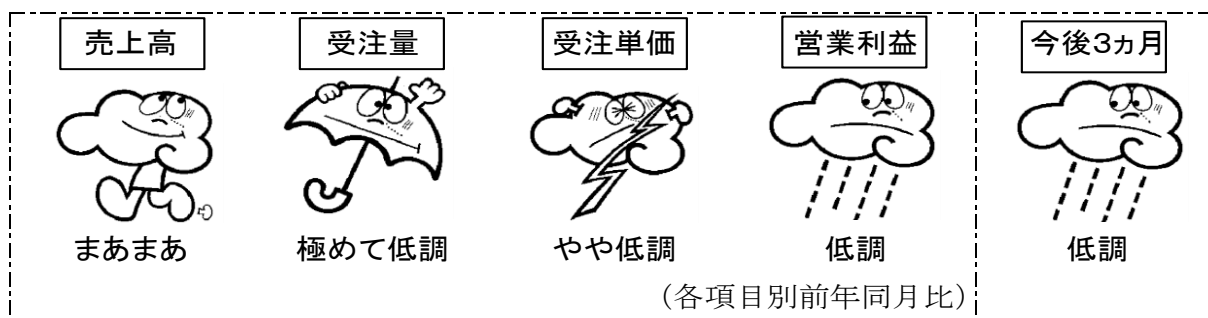
【項目別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0
販売客数	▲ 10.0	▲ 16.6	▲ 25.0	7.7	9.1	▲ 16.7	10.0	▲ 10.0	7.7	18.2	7.7	16.7	▲ 27.3
販売客単価	10.0	▲ 8.3	0.0	23.1	36.4	8.3	40.0	20.0	30.8	36.4	38.5	41.7	9.1
営業利益	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	7.7	▲ 9.1	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1
見通し	▲ 30.0	▲ 16.7	16.7	7.7	▲ 9.1	▲ 25.0	0.0	10.0	0.0	▲ 9.1	0.0	8.4	▲ 18.2

<経営者の目・見方・etc>

- 青果
 - ・7月下旬から新型コロナウイルス感染症の影響を受け業態によっては厳しい状況である。長野県が主産地である葉洋菜が昨年比2割安、果実は単価が高く特に地産品の西瓜は売れ行きが好調である。更なる荷引の徹底を図りたい。
- 青果卸小売業
 - ・うだるような暑さの影響で、日々の食欲が減っているように感じる。それに伴って食材の購買意欲も減ってきている。
- 魚介類
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響が拡大している中、観光需要は復活しつつあるがコロナ禍以前の力強さはない。
- 土産品
 - ・人の流れ、消費ともに活発になり非常に好調である。ただし円安の影響を受け、仕入原価の値上がり等が利益を押し下げていることが不安材料である。
- 金属製品
 - ・あらゆる資源やエネルギーコスト増の中、高炉や電炉各メーカーの強気な姿勢は変わらない。二次製品も大幅な値上げを打ち出しており、益々仕入高となってくる。
- 自転車
 - ・昨年対比は良いが一昨年までは回復していない。仕入価格上昇分を転嫁できるか不透明である。今後最低賃金を含め人件費を上げるようだが企業努力だけでは難しいところである。国の施策があると非常に助かる。
- 医薬品
 - ・原材料費の高騰による仕入高への影響が心配である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 13.6	▲ 48.2	▲ 45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲ 28.0	4.2	4.5	26.1	▲ 3.9	0.0
販売客数	▲ 13.7	▲ 44.5	▲ 50.0	8.3	13.1	0.0	▲ 4.4	▲ 32.0	▲ 4.2	4.6	17.4	▲ 15.4	▲ 33.3
販売客単価	▲ 13.7	▲ 29.6	▲ 20.9	4.2	▲ 13.1	27.3	0.0	4.0	16.7	0.0	8.7	▲ 11.5	▲ 11.1
営業利益	▲ 27.3	▲ 37.0	▲ 50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲ 16.0	4.1	0.0	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8
見通し	▲ 13.7	▲ 14.8	0.0	12.5	▲ 8.7	▲ 27.3	4.3	▲ 12.0	0.0	4.6	8.7	▲ 11.5	▲ 27.7

<経営者の目・見方・e t c>

印章

- 選挙のせい、暑さのせい、お客様が少なくかなり厳しい状況が続いている。デジタル副大臣が「はんこをはじめとして、古いルールをなくし、日本の成長を進めたい」と語っている。今後の動向が当業界の運命を左右するのは間違いないので注視していきたい。

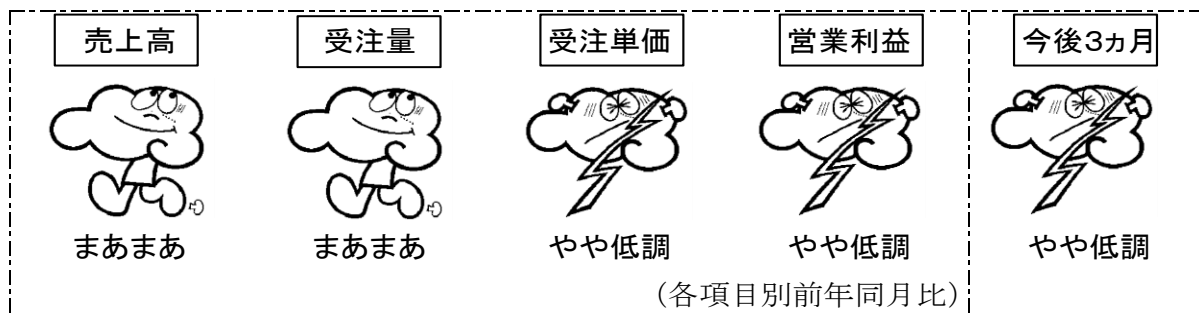
印章・刃物研ぎ
洋菓子店

- 猛暑が連日続いており、人出が悪い。
- 去年と比べるとテイクアウト需要が比較的落ち着いている。円安の影響で輸入材料の値上げが続いている。

和菓子
生鮮食品
パン

- 新型コロナウイルス感染症の影響が広まっており、客足が減った。
- 繁忙期であるため毎月忙しい。
- 新型コロナウイルス感染症による自粛という動きも弱くなったためか、人の動きは活発化しているようで、観光地からの注文が増えてきた。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 25.0	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6	5.3	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9
販売客数	▲ 25.0	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 23.5	10.5	16.6	▲ 62.5	▲ 86.7	▲ 35.3	7.2	0.0	11.8	11.8
販売客単価	▲ 15.0	▲ 52.9	▲ 44.4	▲ 29.4	▲ 10.5	5.5	▲ 37.5	▲ 53.3	▲ 35.3	▲ 7.2	0.0	▲ 5.9	▲ 11.7
営業利益	▲ 35.0	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4	▲ 21.0	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8
見通し	▲ 15.0	▲ 29.4	0.0	5.9	▲ 5.2	▲ 33.3	▲ 43.8	13.3	11.8	7.2	7.1	11.8	▲ 11.8

<経営者の目・見方・etc>

料理

・お昼時の来店客数は主に観光客が増加している。夕食の客足は少なく商用等の宴会も少ない。

・梅雨入りかと思えば、すぐに梅雨明けと日々目まぐるしい時期であった。気候変動と同じく景気も目まぐるしく変化している。

・前半から中盤にかけてはあまり良くはないが昨年よりは良くなっている。後半は新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともないキャンセルが多く、夜のお客様の宴会は激減した。

創作料理

・相変わらず新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、来店した客数は2件のみであった。8月のお盆の予約も8件入っていたが、新たな変異株の影響もあり、仕出しが1件のみとなってしまった。この地区でも今までは感染に係る話を聞かないでいたが、最近は感染発生話題が日常会話に上がるようになり影響が大きい。

そば

・7月の後半になり新型コロナウイルス感染者数が急激に増えはじめお盆明けが非常に心配で、第何波まで続くのか不安である。

寿司

・新型コロナウイルス感染者数が増大している。県外のお客様が多くなってきている。店側としては非常にありがたいが、それ以上に陽性者の来店が心配である。

食堂

・新型コロナウイルス感染者数の減少で自粛生活から解放されたかのように人の動きが多くなってきた。予約が増えこのまま良い状態が続くと思っていた矢先、新たな変異株のBA.2.75が現れた。コロナ禍での生活がまだ続くと考えると気が滅入ってしまう。

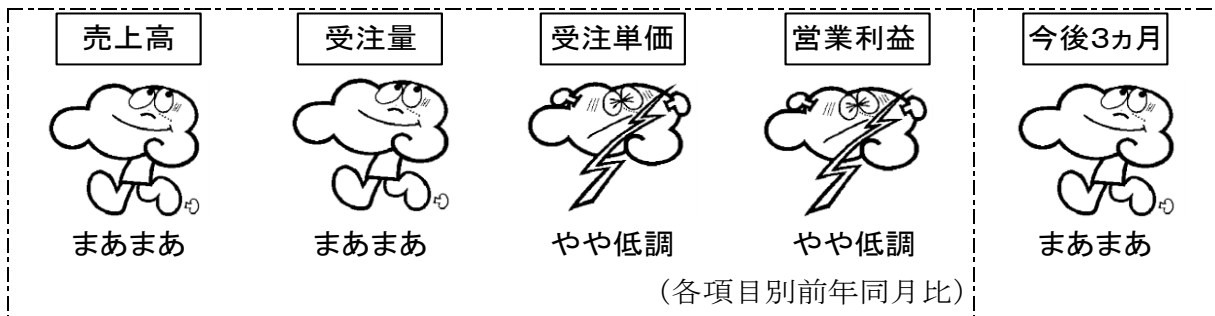
・三連休は人出が多くにぎやかだったが、その後新型コロナウイルス感染者数が急増しており先行きが心配である。行動制限はないものの客足は鈍化している。

郷土料理

・7月初旬は新型コロナウイルス感染症の影響も収まったかのように人出も増えた。中旬頃から新規陽性者が増加し、平日は来店客数が減少した日もあった。下旬の夏休みになるころには家族連れや多人数での来店が増えた。外出制限がないので県外からも来店しているようである。

・6月末時点では7月に30名、20名、15名など多くの宴会予約が入っていたが新型コロナウイルス感染症の第7波の影響によりすべてがキャンセルとなった。大きすぎる痛手である。宴会はなくなってしまったが、観光客が非常に多くて助かった。感染拡大はもちろん心配ではあるが1人でも多くの方に観光目的で松本を訪れていただきたいものである。月末に開催された第34回国宝松本城太鼓まつりは街に人が溢れ賑やかになった。感染対策など色々大変だったかと思うが開催していただいたことに感謝している。やはり夏の松本にはお祭りが似合うと感じている。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	0.0	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 7.1	▲ 2.5	0.0	▲ 12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8
販売客数	▲ 6.8	▲ 22.5	▲ 17.5	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 10.0	4.7	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 2.5	11.9	7.4	2.4
販売客単価	▲ 9.1	▲ 7.5	▲ 10.0	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 12.5	▲ 2.3	▲ 14.3	0.0	0.0	0.0	7.3	▲ 2.4
営業利益	▲ 15.9	▲ 22.5	▲ 20.0	▲ 20.4	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4	▲ 12.5	7.1	2.4	▲ 2.4
見通し	▲ 18.2	▲ 7.5	10.0	▲ 13.7	▲ 7.2	▲ 17.5	▲ 20.9	2.3	2.5	15.0	9.6	4.9	7.1

<経営者の目・見方・etc>

旅館

・新型コロナウイルス感染症第7波により、7月中旬以降のキャンセルが多かった。予約では、昨年を上回っていたが、月末は昨年と同じ売上となった。

温泉旅館

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けキャンセルが多い月であった。
・信州割SPECIALの効果も相まって、夏の観光は好調に推移している。但し、この先は物価高や旅行割引の補助がいつまで続くかなど先行き不透明な部分が多いため、来月への不安が募り楽観視できない。

観光旅館

・新型コロナウイルス感染症の第7波といわれているが、宿泊は最多であった。夏季はこのままの状態営業させて欲しい。

宿泊

・梅雨は異常に早く明けたが、一週間だけの好天でその後は不安定な天候が続いた。せっかく回復してきた予約も、再び新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まり、キャンセルが来るようになった。全国旅行支援も延期となり、再び信州割SPECIALが8月31日まで延長になったが、適用になる日付以前に予約したお客様や首都近辺のお客様には適用にならず申し訳なく思う。食材や燃料などすべてのものが値上げになる中、宿泊料を上げるわけにもいかず大変である。

・7月上旬までは観光もかなり盛り返してきたが、中旬以降の新型コロナウイルス感染症の第7波の急速な拡大でブレーキがかかってしまった。

ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊はコロナ禍以前の70%くらいまで戻ったが、宴会は予約が入ってはキャンセルになることが多い。食材やエネルギーコストの上昇が気になる。値上げせざるをえない状況である。 ・第34回国宝松本城太鼓まつりの復活があった。
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束が見えてこないため不安である。インフルエンザワクチンと同じような副反応がほぼなくしっかりとした効力を持つワクチンの早期実用化を期待している。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事のスパンが長くなっている。1年先、2年先のテーマがある。これも新型コロナウイルス感染症やロシア、ウクライナ問題の影響で物の納期が伸びていて1年も掛かるものがあるためであり、部品を在庫する傾向にある。
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまた大きな問題となっている。円安やガソリンなどのエネルギーコスト高騰など周りに景気が良くなる材料が見当たらない。第7波がまた我々の生活に影を落とすことがないように願うばかりである。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大や原油価格の高騰などに加え、既存のシステムの老朽化という問題を抱えるユーザ企業が多い。特にこれまで外部ベンダーに丸投げしたり、文書化の軽視など、自社内での運用保守を軽視してきた影響を感じる。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の客数はほとんど変わらないようだが、上高地方面では法人タクシーの台数が昨年より少ないこともありその分当組合の稼働が良かった。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客など人の動きも良いようで、このような状況だと撮影状況も良く人も動いている。学校イベントも行われると活気もあり、良い状態に見える。しかし、新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあるので予断を許さない状況だと感じている。現に弊社はコロナ禍の影響を受け、令和3年～令和4年は売上などのアップダウンが激しかった。